

ポーラ・オルビスホールディングス 資生堂「BeauRing」新循環プロジェクトへの参画継続、 社会実装に向け容器収集拠点を拡大

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス(本社:東京都中央区、社長:横手喜一)は、株式会社資生堂(本社:東京都中央区、社長 CEO:藤原憲太郎)と2023 年 4 月からともに進めてきたプラスチック製容器の新循環プロジェクト「BeauRing^{※1}」への参画を継続し、その社会実装へむけて2025 年 10 月より容器収集拠点の拡大を実施します。

本プロジェクト参画継続の背景と目的

当社グループではサステナビリティプラン^{※2}を策定し、全てのステークホルダーや、地球・社会環境と誠実に向き合い、持続可能な社会を創る企業として成長し続けることを目指しています。環境問題については、当社独自の環境目標を掲げて取り組み、その中でもプラスチック削減と循環^{※3}に関する取り組みのひとつとして、2023 年 4 月から資生堂が開始した「BeauRing」プロジェクトに実証試験の段階からパートナー参画^{※4}し、この度の社会実装に向けた取り組み拡大においても継続して連携していくこととしました。

当社グループ、ポーラブランドの取り組みについて

2023 年 4 月より神奈川県横浜市内の百貨店ポーラカウンター、ポーラ ザ ビューティーなどのショップに BeauRing BOX^{※5}を設置し、化粧品容器の収集に取り組んできました。

今回、ポーラブランドとして横浜市内の BeauRing BOX 設置数を増やし、今後も収集拠点を拡大する予定です。化粧品販売においてお客さまとの直接的なコミュニケーションの接点を持つ当社の利点を活かし、企業努力に加えてお客さまからのご理解を深め、ご協力をいただくこともあわせてサステナブルな社会の実現へ貢献していきます。



<収集対象:使用済みプラスチック製化粧品容器(一部)>



プラスチック容器の新循環プロジェクト「BeauRing」とは

化粧品業界の課題の一つである化粧品容器のリサイクルについて取り組むのが「BeauRing」プロジェクトです。

化粧品容器は、中身の保護、使いやすさ、デザイン性が重視されるため、多種多様なプラスチックで作られており、分別が難しいことがリサイクルの障壁となっています。BeauRing では、多くの方が参画しやすい「分別不要」「中身洗浄不要」という特徴に加えて、今回の拡大により収集拠点数が増えることで利便性が加わります。こうした資源循環の輪を広げ、生活者が化粧品を使用し、前向きにリサイクルに参加していただくことで、ともにサステナブルな社会の実現を目指していきます。

※5 : (左写真)BeauRing BOX

※1 : BeauRing 公式サイト 10 月 1 日公開 (<https://www.beauring.com/>)

参考:資生堂ニュースリリース(2025 年 9 月 26 日) <https://corp.shiseido.com/jp/news/detail.html?n=00000000004071>

「資生堂、プラスチック製容器の新循環モデル「BeauRing(ビューリング)」に、ポーラに加えて、シャネル、ファンケルが新たに参画」

※2 : 当社グループのサステナビリティプラン(2025 年 2 月 26 日) <https://www.po-holdings.co.jp/csr/data/pdf/sustainability2025.pdf>

※3 : 当社グループのプラスチック削減と循環について <https://www.po-holdings.co.jp/csr/environmental/plastic/>

※4 : 参考「ポーラ・オルビスホールディングス 資生堂と連携しプラスチック製容器の新循環モデルの実証試験を開始」

https://data.swcms.net/file/po-holdings/news/news/auto_20230210506417/pdfFile.pdf